

友愛会地域生活支援部 令和 7 年度地域連携推進会議議事録

1. 日時

令和 7 年 1 2 月 1 2 日（金） 14：00～15：00

2. 場所

社会復帰支援センター 2 階会議室（上田市大字住吉 167-1）

3. 出席者

入居者 4 名、入居者ご家族 2 名、地域の関係者 2 名、上田市障がい者支援課 1 名、法人代表 1 名

事務局：諸山施設長、小林、吉澤

4. 議題

- ①地域連携推進会議の概要について
- ②事業所の紹介
- ③入居者の権利擁護
- ④意見交換

4. 配布資料

- ①地域連携推進会議の概要について
- ②事業所の概要・沿革、事業の内容について
- ③入居者の生活状況について
- ④入居者の権利擁護

5. 議事

（1）地域連携推進会議の概要について

当日配布資料にて、厚生労働省の「地域連携推進会議の手引き」を参考に、地域連携推進会議の目的（①入居者と地域との関係づくり、②地域の方へのグループホームや入居者に対する理解の促進、③サービスの透明性・質の確保、④入居者の権利擁護）について説明。

（2）事業所の紹介

当日配布使用にて、事業所の概要および沿革、入居者の生活状況について説明。

（3）入居者の権利擁護

当日配布資料にて、事業所の虐待防止の取り組みとして、毎月 1 回第三者委員を招いて虐待防止委員会・身体拘束適正化運営委員会を開催しており、未然に虐待防止を防ぐための

研修等の計画や実施、再発防止策の検討等を行っていることを紹介。昨年度より入居者向けアンケートを実施して、事業運営の課題抽出や虐待防止の取り組みとして活用しており、課題解決の取り組み例を紹介。

(4) 意見交換

小林(事務局)：議事は以上となります。最後に意見交換を行いたいと思います。本日の地域連携推進会議の内容に限らずに、皆様から意見を頂戴したいと思います。

地域関係者：自治会長が1月に改選となるが、今後の施設見学はどうなるのか。また、会議は年何回ですか。

小林(事務局)：改選後の自治会長さんへ改めて会議の構成員のお願いと施設見学の案内をいたします。地域連携推進会議は年1回開催、施設見学も各グループホーム年1回となります。

入居者家族：本人の性格がグループホームに入ってから明るくなりました。電話の内容も明るくてハキハキしている。他の入居者さんに大事にしてもらっているのが分かります。

入居者：Mさんの方からこちらに挨拶してくれます。

入居者家族：グループホームで落ち着いて暮らしてくれると良いです。今のところお陰様で落ち着いています。本人が出歩くのが好きで心配はありますが。

地域関係者：地域ではイベントやお茶のみの集まりもあるので参加してほしい。

諸山施設長(事務局)：第2のぞみが移転する際には、入居前から相談にのってもらい感謝しています。今後ご助言していただきたいです。

地域関係者：ぜひ行事にも参加してほしい。入居されている方の生活の様子がみえないが、日中活動や食事はどうしていますか。

諸山施設長(事務局)：日中活動は通所されている方もいれば、体調等の理由からグループホームで過ごされている方もいらっしゃいます。食事は朝・夕食提供、昼食は各自で用意しています。

上田市障がい者支援課：地域連携推進会議に参加するのは2回目です。グループホームによって会議の進め方は違います。地域の皆さんとグループホームの皆さんが会議で顔を合わせることで馴染みの関係になるのが良いと思います。民生児童委員の方に参加してもらうのも良いです。

法人代表：地域連携推進会議で精神障害者の方の理解が得られて、地域の皆さんと一緒に暮らせるようになれば良いと思います。

諸山施設長(事務局)：グループホームの入居者が地域で皆様と一緒に暮らせるのは大変にありがたいです。災害時等グループホームのスタッフが不在の際には、地域の皆様のお力を貸していただければ幸いです。

小林(事務局)：本日の皆様からのご意見を踏まえて、今後の事業運営に活かして参ります。以上を持ちまして令和7年度友愛会地域生活支援部 地域連携推進会議を閉会いたします。本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございました。

以上